

第581号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



# たかぎ

発行日 2017年8月17日  
 発行責任者 喬木村公民館 長 徹  
 市 瀬  
 編集責任者 公民館編集部 長 志  
 仲 田 久  
 印刷 龍共印刷株式会社

## 子ども学遊館で 「おとまり体験」

七月二十二日(土)・二十三日(日)に子ども学遊館にて、昨年に引き続き二回目となる一泊二日のおとまり体験が、事前に申込んだ第一小・第二小の三年生と五年生、二十四名が参加し行われました。

この事業は、子ども達が、親元を離れ異年齢での集団生活から、自分のことは自分でする自立心や他人を思いやる心、家族への感謝の心を育てるとともに、コミュニケーション能力を高めることを目的に、喬木村社会教育委員会にて企画し実施している事業です。

また、今回は子ども達の社会性を育てようと、地域の大人に関わっていただくイベントとして、飯田O.I.D E長姫高校の先生と生徒

の方に「ペットボトルロケット工作教室」や、昨年に引き続き「夏の星空観察」、公民館クラブのはあとぼっぼの皆さんによる「読み聞かせの会」を行っていたいただきました。

工作教室では、ペットボトルを二つ繋げ、子ども達それぞれが、工夫を凝らし製作したロケットが完成すると、芝グラウンドで実際に飛ばしてみました。水と空気の力だけで、おもしろいように飛んでいくロケットに、みんな服をひしょひしょにぬらしながら歓声を上げて何度も飛距離を競って飛ばしていました。

その後、班毎に相談してAコープで買い物を行い夕食準備。夕食のカレーやサラダが出来あがると芝グラ



ンドにて班毎にいただきました。夜のお楽しみ会では、夏の星空観察と花火大会を行いました。星空観察では小

川の奥村さん、村澤さんを講師に、夏の星座の話や、望遠鏡で星空を観察しました。はあとぼっぼの皆さんの読み聞かせの会では、今まで元気よくはしゃいでいた子ども達も、会のみなさんが作り出す雰囲気と語り合い入るようになり傾いている姿が印象的でした。

二日目は起床後、六時半のラジオ体操とランニングで体を動かし、おなががすいたところで朝食のサンドイッチを班毎に作って食べました。最後に、学遊館をみんなできれいに掃除した後、参加した子ども達がそれぞれに感想を発表、お世話になったスタッフにお礼を言うて解散となりました。

参加いただいた子ども達の中には、初めてのおとまりの子や、普段と違う環境の中でなかなか眠れない子もいましたが、子ども同士で協力し助け合いながら過ごす事ができ、普段とは違う体験ができたのではないのでしょうか。

地域の方々には講師として色々な体験を提供いただき、また、子ども学遊館の皆さんの協力により無事「おとまり体験」を終えることができましたことを心より感謝申し上げます。(喬木村社会教育委員会)

## はじめてのおとまり会

小池 結 愛

わたしは、三年生になったのははじめてのおとまり会に参加しました。はじめてペットボトルロケットを作った水でとばした時に、水を入れすぎないように気をつけました。ふくがびしょびしょだったけれどとても楽しかったです。お買い物をする時には、二千四百円で買うから二千四百円よりねだんが高くないように気をつけてやりました。お会計をすると、二千四百円なのに二千四百五十円になってしまいました。帰ってくる時に物を持ってみました。ちょっとおもかったです。夜ごはんのカレーのようい

の時に、先生がルーを入れた人と言われたれに行きました。入れる時なべがとてもあついからやけどしないように気をつけて入れました。二羽の若いワシは、相手のすきをみて互いにいれかわり、上からおそいかかるのです。しかし、もう一羽大ワシが現れ若いワシにおそいかかりました。若いワシは、若いものは時を待て、という教えに従って逃げることにします。「・・・おなかをすかして・・・大きな谷の上をひよるひよる飛んでいるとき・・・深い林の中からワシの大きなさけび声が聞こえてきた・・・まいてみる。大きなシカがたおれている。そのまわりに五羽の大ワシがならんでいた・・・」

二羽の若いワシは、相手のすきをみて互いにいれかわり、上からおそいかかるのです。しかし、もう一羽大ワシが現れ若いワシにおそいかかりました。若いワシは、若いものは時を待て、という教えに従って逃げることにします。「・・・おなかをすかして・・・大きな谷の上をひよるひよる飛んでいるとき・・・深い林の中からワシの大きなさけび声が聞こえてきた・・・まいてみる。大きなシカがたおれている。そのまわりに五羽の大ワシがならんでいた・・・」

二羽の若いワシは、相手のすきをみて互いにいれかわり、上からおそいかかるのです。しかし、もう一羽大ワシが現れ若いワシにおそいかかりました。若いワシは、若いものは時を待て、という教えに従って逃げることにします。「・・・おなかをすかして・・・大きな谷の上をひよるひよる飛んでいるとき・・・深い林の中からワシの大きなさけび声が聞こえてきた・・・まいてみる。大きなシカがたおれている。そのまわりに五羽の大ワシがならんでいた・・・」

二羽の若いワシは、相手のすきをみて互いにいれかわり、上からおそいかかるのです。しかし、もう一羽大ワシが現れ若いワシにおそいかかりました。若いワシは、若いものは時を待て、という教えに従って逃げることにします。「・・・おなかをすかして・・・大きな谷の上をひよるひよる飛んでいるとき・・・深い林の中からワシの大きなさけび声が聞こえてきた・・・まいてみる。大きなシカがたおれている。そのまわりに五羽の大ワシがならんでいた・・・」

二羽の若いワシは、相手のすきをみて互いにいれかわり、上からおそいかかるのです。しかし、もう一羽大ワシが現れ若いワシにおそいかかりました。若いワシは、若いものは時を待て、という教えに従って逃げることにします。「・・・おなかをすかして・・・大きな谷の上をひよるひよる飛んでいるとき・・・深い林の中からワシの大きなさけび声が聞こえてきた・・・まいてみる。大きなシカがたおれている。そのまわりに五羽の大ワシがならんでいた・・・」

## あの時

七月、信毎賞の受賞式が開かれた。スピードスケートの小平奈緒選手と共に白馬の田中欣一先生も受賞され、八十八歳とは思えぬ元気な姿を新聞で拝見することができた。「塩の道(新潟糸魚川から松本平に続く千国街道)研究の第一人者で、古道を實際に歩き、歴史や文化を足の裏で感じながら思索を深めてきた先生である。」

田中欣一先生と出会ったのは教頭としてお世話になっていた小谷である。子どもたちが地元之宝を知り、故郷に愛着をもつことに繋がる取り組みを構想したいと思い、地域の宝塩の道歩き、職員研修の案内をしていただいた。翌年には塩の道クラブをつくり、一部の子どもでもあったが、一年に数回、塩の道を歩くようになった。三年後には塩の道遠足という全校の行事になった。

二年目の秋は熊の出没が相次いだ。クラブが近づいたある日、「こんなに熊が出てくるのに塩の道を歩くのか」という声が学校に届いた。子どもたちの安全にかかわる大問題で、対応を真剣に検討した結果、道案内のボランティアに加え保護者や地域の方にも参加を募り、大勢の大人に同行してもらうことにした。「危険だから止めた方がいい」という意見もあったが、多くの保護者と地域の方の応援で無事実施できたことを思い出す。

故郷を知る、故郷について学ぶ、是非子どもたちにやってもらいたいと思う。しかも直接的な体験を通すことが大事だと私は思う。田中欣一先生は種田山頭火の「つきあたたてまがれば風を引用し、古道の魅力」を曲がついているところを語っている。曲がった先の景色や吹く風の変化にワクワクしながら、下伊那の古道も歩いてみたいと思う。(館長)

## 「おとまり体験」

### 「大空に生きる」その三

久保田 毅

「野に生きるものに、あた

夜があけると、キツネに足の指をかみ切られたほうのワシは、空にむかって飛びたちます。もう一方のむねに傷を受けた若いワシは、動こうと

「野に生きるものに、あた

サギを手に入れることがで

四日目に、若いワシはウ



「野に生きるものに、あた

「野に生きるものに、あた

「野に生きるものに、あた

「野に生きるものに、あた

# 総合型地域スポーツクラブの コラボランニングイベント!



たかぎスポーツクラブ所属の選手が見事2位!

七月二十九日(土)、飯田・下伊那の総合型地域スポーツクラブである、「たかぎスポーツクラブ」とよおか総合型地域スポーツクラブ「南信州クラブ」による共催イベント『ランニングフェスタ2017』が開催されました。保育園の部から大人の部まで、たくさんランニング愛好家に参加し、真剣にかけっこを楽しみました。当日は天気にも恵まれ、比較的涼しい中で走ることができ、素晴らしいイベントとなりました。保育園の部は、保護者の方が伴走しながら運動公園

ランニングコースの1周を頑張って全員完走。小学生の部は、二周(約1km)という距離を一生懸命競争しました。中学生・大人の部は、四周(2km)という距離を、さすがという速いスピードで走り抜きました。表彰台に上がった子も、残念ながら上がれなかった子も、勝てた喜びや負けた悔しさを今後のトレーニングの糧にして、さらに飯田下伊那のスポーツを盛り上げたいと思います。

「たかぎスポーツクラブ」では、誰もが楽しく参加できるスポーツイベントをこれからも企画していきます。ぜひ注目ください。お問い合わせは一般社団法人たかぎスポーツクラブ事務局(電話 〇八〇一四一一七三七八四)までお願いいたします。 ※インターネットでは「たかぎスポーツクラブ」と検索してください。

## たかぎ俳句クラブ 文月句会詠草

雨雫緑に映ゆるくりん草  
マレットの人のざわめき梅雨走る

市橋 ヨリ

薫風や観音様の笑み幽か  
医者通ひ終わりにしたき半夏生

西元くに子

瑞蓮のひとつゆりゆるる光かな  
壮快な若さ操つる草刈機

田中 君子

軽鴨の親子の水輪尾を引ききて  
馬追の鳴く坂道に腰おろし

村山 たか子

日焼けせし白寿の人の誇らかに  
半夏生伝へたきこと一つあり

松葉 孝子

習ひ事終へし安堵や夏の月  
新馬鈴薯の肌若々し粒ぞろい

青田風家並を渡る風すがし  
風鈴の音に癒されて明けそめし

万緑や板につきたる労働者  
退院の風くちなしの香が運ぶ

夕河鹿声の優しく鳴き出でぬ  
灯ともし頃声のやさしき夕河鹿

母の日や明治の母のおぼえ書  
三銭で角又とあめ夏祭

逃がさじと石ごと腕を掴み上ぐ  
草木瓜や弥陀文字浅き畦仏

## 各地の夏祭り

今年も村内各地で夏祭りが開催されています。各地区趣向を凝らし地域の特徴が表現された祭りとなっています。どの会場も地域の方、大変多くの子供たちで賑わっていました。地区役員の皆様は開催にあたってご苦労もあることと思いますが、これからも地域が一致団結して祭りを盛り上げていただきたいと思っています。



7月29日(土) 北保育園園庭にて 盆踊り



7月29日(土) 第二小学校 常会ごとの出し物



7月16日(日) 加々須区民会館 新たに加々須小唄披露

## 平成29年度 喬木村夜間ソフト中間結果 (H29.7.31 現在)

平成29年度 喬木村夜間ソフトボール連盟 第43回大会リーグ戦 星取表

順位	チーム名	上平龍王	南D	伊久間K	富田B	北明神	両平	北久ら馬	寺の前	婦牛原S	伊久間G	町天狗海	富田L	勇龍	婦牛原D	南志ら鳩	加々須	勝数	負数	分	勝点
1	上平龍王	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8	0	0	8
2	南D	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	5	3	1	5.5
3	伊久間K	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8	1	0	8
4	富田B	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6	3	0	6
5	北明神	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	5	3	0	5
6	両平	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3	5	0	3
7	北久ら馬	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	5	2	1	5.5
8	寺の前	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3	5	0	3
9	婦牛原S	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	3	5	0	3
10	伊久間G	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	5	3	0	5
11	町天狗海	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	1	7	0	1
12	富田L	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	7	2	0	7
13	勇龍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	4	4	1	4.5
14	婦牛原D	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	2	7	0	2
15	南志ら鳩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	1	7	1	1.5
16	加々須	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	9	0	0

※勝ち点1勝=1 引き分け=0.5で加算(同点の場合 ①勝数の大 ②負数の小 ③以上で同じなら同順位) ただし、1位の決定は直接対決による。引き分けの場合は決定戦を行う。  
印:○勝ち、●負け、△引き分け、□不戦勝、■不戦敗

## 編集後記

まだまだ残暑厳しいこの時期ではあるが、しばらくすると台風到来の季節となる。この頃、日本各地に線状降水帯が頻りに発生し、列島に甚大な豪雨災害をもたらしている。災害は予期せぬかたちで、想定を上回る規模で起こり得る事を承知しておかなければならない。万が一、災害に見舞われた折には、命を最優先に行動するべきである。日頃より意識しておきたいことは、隣近所の様子を把握しておき、不測の事態には助け合える環境を整えておくことであると思う。

第10回武田信玄狼煙上げのお知らせ  
富田城山・加々須茶臼山で狼煙上げを行います。  
戦国時代の知将、武田信玄が情報伝達の手段として、伊那谷から諏訪、そして甲斐へと築いた武田信玄の狼煙を再現し、地域の大切な歴史文化を世代を越えて学び合い、地域と地域、人と人のつながりを深めることを大切にしています。近い将来、南信州から甲府までを狼煙でつなごうという、夢とロマンを感じる取り組みです。

喬木村では武田信玄狼煙会より一年早く、狼煙上げイベントに取り組みしており、今年が十一回目となります。当日はそれぞれの会場で狼煙づくりの体験をしてみたいと思います。その後、狼煙や地域の歴史について少し勉強をしていただき、他地区の狼煙が上がるのを確認して点火します。貴重な体験ができるチャンスです。大人の方はもちろん、地域の担い手である子どもさんの参加をお待ちしています。

実施日 9月2日(土)  
雨天の場合は3日(日)午後2時集合  
時間 9時20分現地集合  
場所 富田城山・加々須茶臼山